

私たちにできること。

報告書



ヒーバックアンドアールジャパン 冷凍・空調・暖房展

HVAC&R JAPAN 2008

HEATING, VENTILATING, AIR-CONDITIONING AND REFRIGERATING EXPO.

2/12 (Tue) ▶ **15** (Fri)

会場
Venue

東京ビッグサイト 東展示棟 1・2ホール
Tokyo Big Sight East Exhibition Hall 1,2

主催：社団法人 日本冷凍空調工業会
The Japan Refrigeration and Air Conditioning Industry Association

<http://www.jraia.or.jp>



報告書

人にも地球にもやさしい、高効率な冷凍・空調技術で「私たちにできること。」をテーマにかかげ展示会・セミナーともに盛況裡に終了しました。



●エントランス



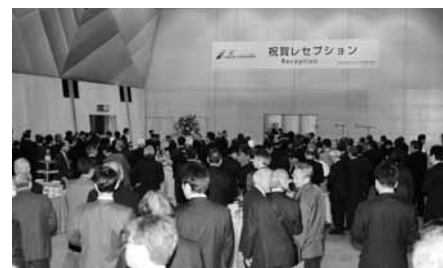
●登録所



●展示会場



●開会式
左から日本冷凍空調工業会 東間副会長
中国制冷空調工業協会 Fan理事長
経済産業省製造産業局産業機械課 秋庭課長
日本冷凍空調工業会 中村会長
韓国冷凍空調工業会 Lee会長
日本冷凍空調工業会 小川HVAC&R部会長



●祝賀レセプション



●展示会場を俯瞰から

目次

ごあいさつ	P 1
開催概要	P 2
来場者概要	P 3
会場図	P 4 - 5
出展者一覧	P 6 - 7
情報発信コーナー他 併催企画	P 8 - 9
基調・一般講演／利用温度領域セミナー／出展者プレゼンテーション	P10 - 11
アンケート結果	P12 - 13
来場者アンケート	P12
出展者アンケート	P13
広報・宣伝活動	P14 - 17

ごあいさつ



社団法人 日本冷凍空調工業会
会長 中村 一幸

HVAC&R JAPAN 2008 (第35回冷凍・空調・暖房展)は、去る平成20年2月12日(火)より15日(金)の4日間にわたり、東京ビッグサイトにおいて開催され、盛況裡に終了いたしました。

冷凍空調業界における我が国最大規模のトレードショーとして、国内のみならず海外からも高い評価を頂き、世界最高水準の技術をご覧いただくにふさわしい展示会となりました。これもご参加頂きました企業・団体の皆様が積極的なご提案・展示をして頂きました成果であり、心より厚く御礼申し上げます。

今回の展示規模は、世界の共通課題である地球温暖化などの環境問題が急激に高まっていることもあり、出展企業は海外15社を含め152社、出展小間数も704小間と過去最大の展示規模となり、来場者数も33,277人と多くの皆様にお越し頂きました。

今年より京都議定書の第一約束期間が始まり、7月には北海道でG8洞爺湖サミットが開かれるなど社会的に環境問題へ注目が集まっていることもあり、各ブースともに地球温暖化やオゾン層破壊への対応を狙った新製品の展示に重点を置かれているのが印象的でした。また、新たなビジネスチャンスをひろげる新技術や製品が数多く展示・提案され、来場者も高い関心を寄せていました。

さらに、著名な講師を招いた「基調講演」「一般講演」も好評で、中には事前申込で満席となる講演もあり、同時開催の「第3回自然冷媒国際セミナー」や「日本冷凍空調学会 技術賞セミナー」も多数の研究者や開発技術者が集う結果となりました。

今回の「HVAC&R JAPAN 2008」は「私たちにできること。」をテーマとして当工業会が地球温暖化防止などの環境問題において大きな役割をもつことを強くアピールさせていただきましたが、今後も省エネルギーの推進や地球環境保護など、社会の貢献をより一層進めて参ります。

最後に、このような大成功を収めることができましたのも、ひとえに出展各社をはじめ、関係官庁、協賛団体・学会、ならびに報道機関のご支援、ご協力の賜物と深く感謝申し上げます。ここに「HVAC&R JAPAN 2008」についてご報告いたしますとともに、次回開催に向けてより一層のご支援ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

開催概要

展示会名称
HVAC&R JAPAN 2008 (ヒーバックアンドアールジャパン)
第35回冷凍・空調・暖房展

会期
 2008年 2月12日(火)~15日(金) 10:00~17:00 最終日は16:00まで

会場
 東京ビッグサイト 東展示棟 1・2ホール

主催
 社団法人 日本冷凍空調工業会

後援
 経済産業省

展示規模
 152社/団体 704小間

入場料
 無料(登録制)

同時開催
 (財)ヒートポンプ・蓄熱センター 第3回自然冷媒国際セミナー
 (社)日本冷凍空調学会 技術賞セミナー

協賛

- | | |
|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| ウレタンフォーム工業会
有限責任中間法人オゾン層・気候保護産業協議会
社団法人空気調和・衛生工学会
財団法人建築環境・省エネルギー機構
社団法人建築業協会
社団法人建築設備技術者協会
高圧ガス保安協会
財団法人住宅産業情報サービス
財団法人省エネルギーセンター
財団法人新エネルギー財団
独立法人新エネルギー・産業技術総合開発機構
社団法人全国建設業協会
全国電機商業組合連合会
社団法人ソーラーシステム振興協会
社団法人電気設備学会
電気事業連合会
社団法人日本ガス協会
社団法人日本ガス石油機器工業会
社団法人日本機械工業連合会
社団法人日本空気清浄協会
社団法人日本空調衛生工事業協会
社団法人日本産業機械工業会
日本自動車工業会 | 社団法人日本自動車車体工業会
日本自動車販売工業会
社団法人日本設備設計事務所協会
社団法人日本セルフ・サービス協会
日本太陽エネルギー学会
日本暖房機器工業会
日本チェーンストア協会
社団法人日本電気計測器工業会
社団法人日本電機工業会
社団法人日本バルブ工業会
日本フォームスチレン工業組合
日本フルオロカーボン協会
社団法人日本ボイラ協会
日本保温保冷工業協会
日本床暖房工業会
日本冷却塔工業会
社団法人日本冷凍空調学会
社団法人日本冷凍空調設備工業連合会
社団法人日本冷凍食品協会
発泡スチレン工業会
財団法人ヒートポンプ・蓄熱センター
社団法人プレハブ建築協会
有限責任中間法人フロン回収推進産業協議会
(50音順) |
|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|

来場者概要

HVAC&R JAPAN 2008 来場者数 4日間合計 **33,277人** (前回実績 28,412人)

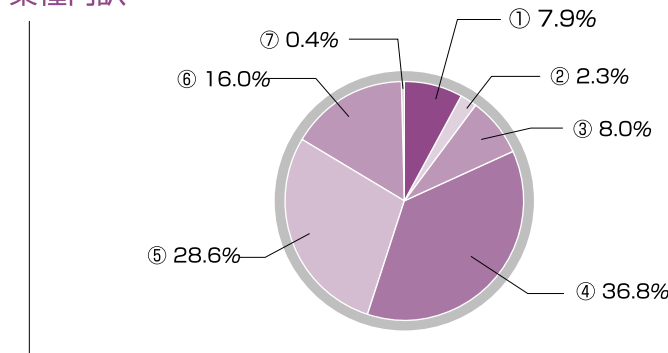
開催日	天候	来場者数
2月12日(火)	雨	3,899人
2月13日(水)	晴	9,463人
2月14日(木)	晴	10,921人
2月15日(金)	晴	8,994人
合計		33,277人



●登録受付風景

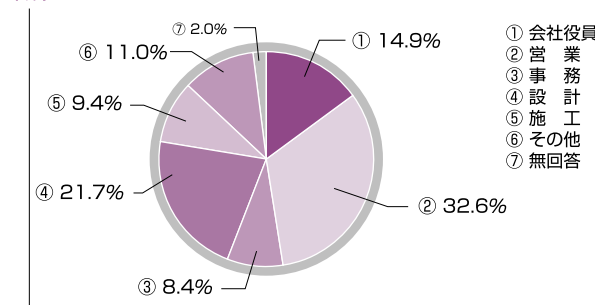
業種・職種・年齢内訳と海外からの来場者

業種内訳

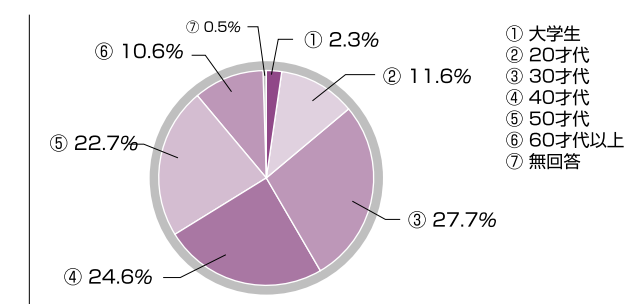


① ユーザー	2,613人
② 官公庁・自治体・団体・教育/研究機関等	778人
③ 設計・工務店・建築	2,655人
④ 設備・電気・管工事業・保守/サービス業	12,243人
⑤ 冷凍空調暖房機器メーカー・資材メーカー	9,515人
⑥ その他	5,314人
⑦ プレス	159人
合計	33,277人

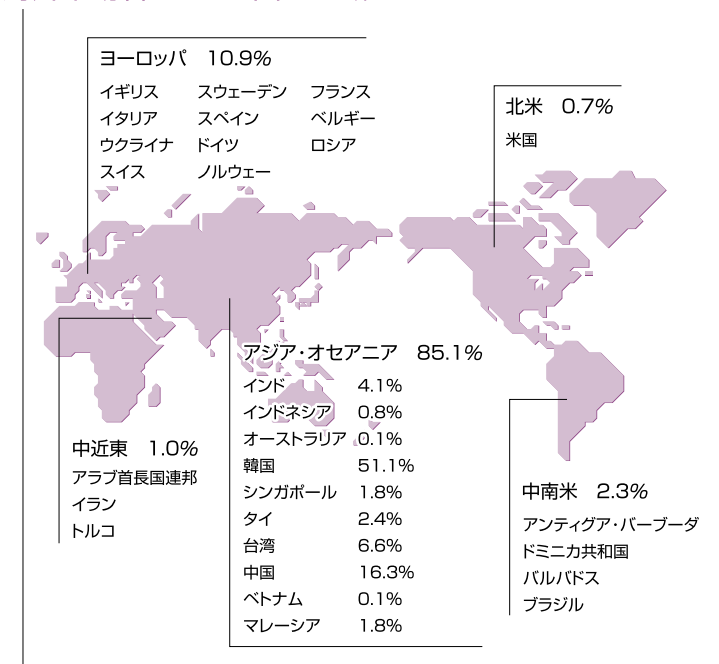
職種 ※会場で実施したアンケート調査による傾向値



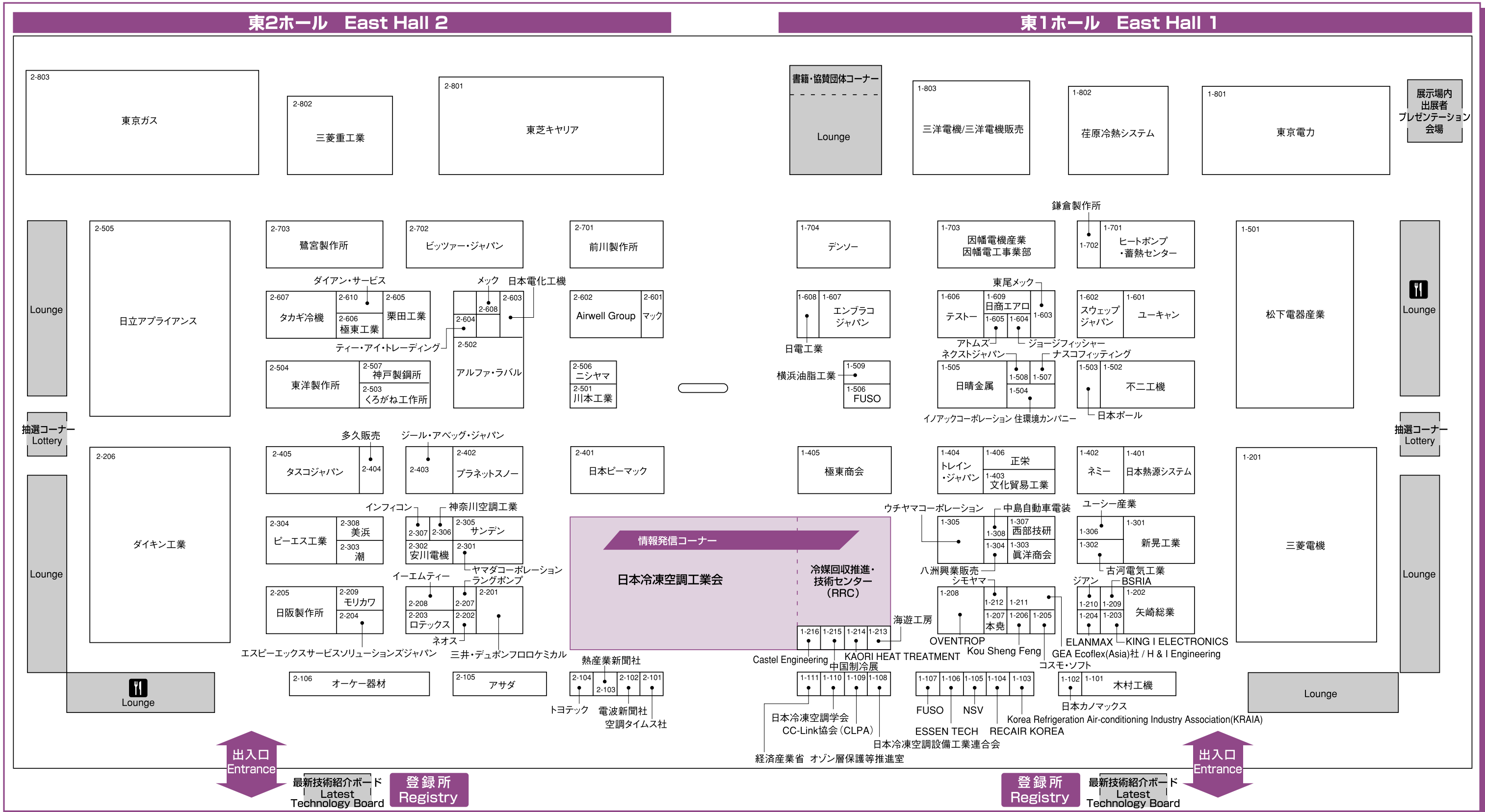
年齢 ※会場で実施したアンケート調査による傾向値



海外来場者 30カ国・地域/838人



会場図



■ 出展者一覧

Booth No.	出展者名
2-803	アイシン精機(株) ※ [GHPグループ]
2-105	アサダ(株)
1-605	(株)アトムズ
2-502	アルファ・ラバル(株)
2-208	イーエムティー(株)
1-703	因幡電機産業(株) 因幡電工事業部
1-504	(株)イノアックコーポレーション 住環境カンパニー
2-307	インフィコン(株)
2-303	(株)潮
1-305	ウチヤマコーポレーション(株)
2-204	エスピーエックスサービスソリューションズジャパン(株)
1-802	(株)荏原シンワ ※
1-802	(株)荏原製作所 ※
1-802	荏原テクノサーブ(株) ※
1-802	荏原バラード(株) ※
1-802	荏原冷熱システム(株)
1-607	エンブラコ ジャパン
2-106	オーケー器材(株)
1-213	(株)海遊工房
2-306	(有)神奈川空調工業
1-702	(株)鎌倉製作所
2-501	川本工業(株)
1-101	木村工機(株)
2-606	極東工業(株)
1-405	(株)極東商会
2-101	(株)空調タイムス社
2-605	栗田工業(株)
2-503	(株)くろがね工作所
1-111	経済産業省 オゾン層保護等推進室
2-507	(株)神戸製鋼所
1-205	(株)コスモ・ソフト
2-703	(株)鷺宮製作所
2-305	サンデン(株)
1-803	三洋電機(株) / 三洋電機販売(株)
2-803	三洋電機販売(株) ※ [GHPグループ]
1-210	(株)ジアン
1-704	GAC(株) ※

Booth No.	出展者名
1-109	CC-Link協会 (CLPA)
2-403	ジール・アベッグ・ジャパン(株)
1-212	(株)シモヤマ
1-406	正栄(株)
1-604	ジョージフィッシャー(株)
1-301	新晃工業(株)
1-303	(株)眞洋商会
1-602	スウェーブジャパン(株)
1-307	(株)西部技研
2-610	(株)ダイアン・サービス
2-206	ダイキン工業(株)
2-803	ダイキン工業(株) ※ [GHPグループ]
2-607	タカギ冷機(株)
2-503	ダクトソックス ※
2-404	多久販売(株)
2-405	タスコジャパン(株)
2-604	ティー・アイ・トレーディング(株)
1-606	(株)テストー
1-704	(株)デンソー
1-704	(株)デンソーエース ※
2-102	(株)電波新聞社
2-803	東京ガス(株)
1-801	東京電力(株)
2-801	東芝キャリア(株)
2-801	東芝キャリア空調システムズ(株) ※
2-801	東洋キャリア工業(株) ※
2-504	(株)東洋製作所
2-104	(株)トヨテック
1-404	トレイン・ジャパン(株)
1-308	(株)中島自動車電装
1-507	ナスコフィッティング(株)
2-506	(株)ニシヤマ
1-608	日電工業(株)
1-609	日商エアロ(株)
1-505	日晴金属(株)
1-102	日本カノマックス(株)
1-201	日本建鐵(株) ※

Booth No.	出展者名
2-603	日本電化工機(株)
1-401	日本熱源システム(株)
2-401	日本ピーマック(株)
1-503	日本ボール(株)
1-110	(社)日本冷凍空調学会
1-108	(社)日本冷凍空調設備工業連合会
2-202	(株)ネオス
1-508	(株)ネクストジャパン
2-103	(有)熱産業新聞社
1-402	ネミー(株)
2-304	ピーエス(株) ※
2-304	ピーエス工業(株)
1-701	(財)ヒートポンプ・蓄熱センター
1-603	東尾メック(株)
2-205	(株)日阪製作所
2-505	日立アプライアンス(株)
2-803	日立アプライアンス(株) ※ [GHPグループ]
2-505	(株)日立プラントテクノロジー ※
2-702	(株)ビッツァー・ジャパン
1-502	(株)不二工機
1-506	(株)FUSO
1-107	
2-402	プラネットスノー(株)
1-302	(株)古河テクノマテリアル ※
1-302	古河電気工業(株)
1-403	文化貿易工業(株)
1-207	(株)本堯
2-701	(株)前川製作所
2-601	(株)マック
1-501	松下エコシステムズ(株) ※
1-501	松下電器産業(株)
1-501	松下電工(株) ※
2-201	三井・デュポンフロロケミカル(株)
2-802	三菱重工業(株)
2-802	三菱重工空調システム(株) ※
2-803	三菱重工空調システム(株) ※ [GHPグループ]
2-802	三菱重工冷熱システム(株) ※
1-201	三菱電機(株)

Booth No.	出展者名
1-201	三菱電機住環境システムズ(株) ※
1-201	三菱電機ビルテクノサービス(株) ※
2-308	美浜(株)
2-608	(株)メック
2-209	(株)モリカワ
1-303	森村商事(株) ※
1-202	矢崎総業(株)
1-304	八洲興業販売(株)
2-302	(株)安川電機
2-301	(株)ヤマダコーポレーション
2-803	ヤンマーエネルギーシステム(株) ※ [GHPグループ]
1-601	ユーキャン(株)
1-306	ユーシー産業(株)
1-509	横浜油脂工業(株)
2-207	ラングポンプ(株)
1-608	菱華産業(株) ※
1-608	備前コーナ 冷媒回収推進・技術センター(RRC)
2-203	(株)ロテックス
Lounge	協賛団体コーナー
海外	
2-602	Airwell Group
1-209	BSRIA LTD.
1-216	Castel Engineering S.A.
1-215	中国制冷展
1-204	ELANMAX CO., LTD.
1-106	ESSEN TECH CO., LTD.
1-208	OVENTROP GmbH & Co. KG
1-211	GEA Ecoflex(Asia)社 : JAPAN OFFICE : H & I Engineering Co., Ltd.
1-214	KAORI HEAT TREATMENT CO., LTD.
1-203	KING I ELECTRONICS CO., LTD.
1-103	Korea Refrigeration and Air-conditioning Industry Association(KRAIA)
1-206	Kou Sheng Feng Co., LTD.
1-105	NSV CO., LTD.
1-104	RECAIR KOREA CO., LTD.
1-602	SWEP International AB ※

50音順 ※=共同出展者

■ 情報発信コーナー

HVAC&R JAPAN 2008の開催テーマ「私たちにできること。」をキーワードに、「出展者」「来場者」それぞれに「できること」をパネル展示やステージ展開で発信しました。

(社)日本冷凍空調工業会

HVAC&R JAPAN 情報パネル

(社)日本冷凍空調工業会の情報発信基地として、業界の最新動向や地球温暖化防止・オゾン層保護についてのパネル紹介を行いました。



ヤジロベエオブジェ

温暖化に伴う地球規模の自然現象を土台とし、地球の両袖に「豊かな暮し」と「豊かな自然」をイメージしたやじろべえをオブジェ化しました。



目で見るCO₂

1世帯当たりの1日に排出するCO₂の量と一般家庭でできるCO₂削減例を風船で表現しました。



360度ディスプレイ映像

どの方向からでも見ることができる円筒型のディスプレイで、HVAC&R JAPAN 情報パネルの中で特に発信したい部分を映像化しました。



クイズラリー企画

情報パネルの中にヒントを隠し、正解者に記念品をプレゼントするクイズ企画を実施しました。RRCブースと連動することで、来場者の皆様に情報発信コーナーをくまなく体感していただきました。

冷媒回収推進・技術センター (RRC)

RRCパネル展示

確かな技術でオゾン層保護・地球温暖化防止に貢献するRRCが推進する①フロン回収技術者の育成と資格認定 ②回収フロンの再生・再利用の推進 ③普及啓発活動 を紹介しました。



冷媒回収シミュレーション 体験コーナー

PC操作で冷媒回収の仕組みが楽しく分かる来場者参加型企画をメインステージ横で展開し、多くの参加者で賑わいました。



ニュース仕立てステージ「News フロン・ステーション」

RRC推進事業をキャスターとレポーターが分かりやすく解説し、「フロン回収はあなたが主役!」を聴講者に訴えました。

■ 最新技術紹介ボード

例年ご好評いただいている当企画には、今回も多くの出展者が参加しました。すべての来場者が通過する入場口に設置することで、最新技術を存分にアピールしました。



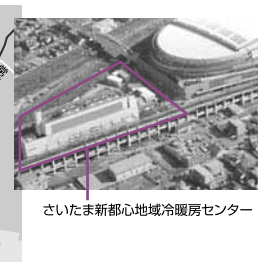
■ 抽選コーナー

ご来場いただいたすべての皆様へ感謝の気持ちを込めて、素敵な景品をご用意しました。また、同時に来場者アンケート調査を実施し、貴重なご意見を多数お寄せいただきました。



■ 施設見学会

熱心な参加者が集う今回の施設見学ツアーでは、世界最大級の蒸気吸収冷凍機を導入している「さいたま新都心地域冷暖房センター」を訪問しました。



■ (財)ヒートポンプ・蓄熱センター 第3回自然冷媒国際セミナー

2月15日(金) 9:45~17:30 会場：607+608会議室

主催：(財)ヒートポンプ・蓄熱センター/ (社)日本冷凍空調工業会

省エネルギー・新冷媒の選択の可能性について、専門家による活発な意見交換が行われました。



■ (社)日本冷凍空調学会 技術賞セミナー

2月14日(木) 13:00~16:00 会場：609会議室

主催：(社)日本冷凍空調学会/ (社)日本冷凍空調工業会

日本冷凍空調学会の学会賞において、平成18・19年度に「技術賞」を受賞した企業による技術紹介を行いました。



■ 基調・一般講演：会議棟6階

基調・一般講演は来場者の関心の高いテーマで全11講演が行われ、どの講演も活況を呈しました。

2月12日(火)

基調講演Ⅰ

13:30~14:20
フロン問題を巡る最近の動向と
今後の方向について
経済産業省 製造産業局 化学物質管理課
オゾン層保護等推進室長 勝山 潔



基調講演Ⅱ

14:35~15:25
これからの省エネルギー対策について
経済産業省 資源エネルギー庁
省エネルギー・新エネルギー部
省エネルギー対策課長 三木 健



2月13日(水)

基調講演Ⅲ

11:00~11:50
電力負荷平準化対策について
経済産業省 資源エネルギー庁 電力・ガス事業部
電力基盤整備課長 吉野 恭司



講演①

11:00~11:45
環境の世紀をどう生きるか
—環境・設備技術者の役割—
(株)日本設計 常務執行役員 環境・設備設計群長 佐藤 信孝



講演②

13:00~13:45
エコキュートの普及促進について
(財)ヒートポンプ・蓄熱センター 蓄熱普及分科会委員
水谷 知裕



講演③

13:00~13:45
エネルギー・マネジメント
CO₂排出量削減に向けて
(株)森村設計 環境部 技術開発 取締役部長 村田 博道



講演④

14:00~14:45
低炭素社会を具現化するヒートポンプの現状と展望
(財)ヒートポンプ・蓄熱センター 蓄熱広報分科会委員
佐々木 正信



講演⑤

14:00~14:45
超高齢社会に向けた
空調のポイントについて
トータルシステム研究所 代表 北原 博幸



講演⑥

15:00~15:45
ヒートポンプ利用と系統電力の原単位問題
東海大学 名誉教授 工学博士 田中 俊六



2月15日(金)

講演⑦

11:00~11:45
国際標準化BACS
(ビル自動管理制御システム)の最新動向
環境システック中原研究処 代表 中原 信生



講演⑧

13:00~13:45
産業界フロン問題対策の成果と課題
(中法)オゾン層・気候保護産業協議会 専務理事 上村 茂弘



協立機電工業(株)ソリューション本部 技術顧問
豊田 武二



■ 利用温度領域セミナー：会議棟6階

今回初めての試みとしてHVAC&R コンベンション委員会が企画した利用温度領域セミナーも、大変多くの来場者に聴講いただきました。

2月13日(水)

利用温度領域セミナー(1)

13:00~13:45
F級冷蔵倉庫用新NH₃/CO₂システム
【-25℃~-40℃】
コンベンション委員会<(株)前川製作所>

利用温度領域セミナー(2)

14:00~14:45
80kW級産業用・業務用エコキュート
【+65℃~+95℃】
コンベンション委員会<(株)前川製作所>

利用温度領域セミナー(3)

15:00~15:45
エジェクタサイクル式冷凍機
【-30℃~-20℃】
コンベンション委員会<(株)デンソー>

利用温度領域セミナー(4)

16:00~16:45
サーモサイフォン式半導体冷却装置
【+25℃~+100℃】
コンベンション委員会<(株)デンソー>



■ 出展者プレゼンテーション

会議棟101会議室

2月12日(火)

15:00~15:45
Latest trends for the air conditioning,
renewables and heating markets
across the globe BSRIA LTD. UK

16:00~16:45
空調・暖房・新エネルギーシステムに
関する最新世界市場動向 英国・ブスリア社

2月13日(水)

13:00~13:45
低炭素社会の実現に向けた
マエカワの取組み (株)前川製作所

14:00~14:45
エネルギーソリューション 三菱重工業(株)

15:00~15:45
Latest trends for the air conditioning,
renewables and heating markets
across the globe BSRIA LTD. UK

16:00~16:45
空調・暖房・新エネルギーシステムに
関する最新世界市場動向 英国・ブスリア社

2月14日(木)

13:00~13:45
低炭素社会の実現に向けた
マエカワの取組み (株)前川製作所

14:00~14:45
エネルギーソリューション 三菱重工業(株)

15:00~15:45
次世代病院に求められる
エネルギー供給システムとは 東京電力(株)

展示ホール内プレゼン会場

2月13日(水)

14:00~14:30
省CO₂『見える化』ソリューション
~立花エレクトック TEMSolution
による省エネ見える化事例~ 三菱電機(株)

15:15~15:45
排熱回収ヒートポンプシステム (株)東洋製作所

2月14日(木)

14:00~14:30
省CO₂『見える化』ソリューション
~立花エレクトック TEMSolution
による省エネ見える化事例~ 三菱電機(株)

15:15~15:45
自然冷媒 CO₂ / NH₃ ユニット (株)東洋製作所

2月15日(金)

14:30~15:00
新型空調機 (株)東洋製作所

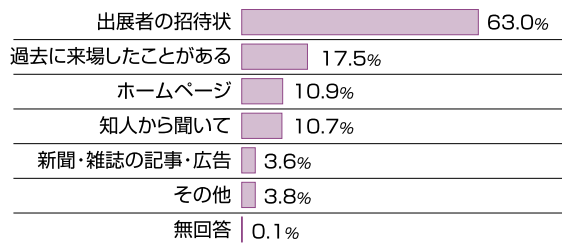
■ アンケート結果

2010年の次回開催に向けて、様々なお声をお聞かせいただきました。ご協力ありがとうございました。

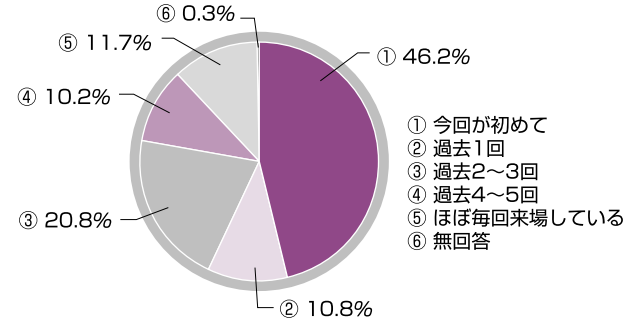


来場者アンケート (有効回答者数:999)

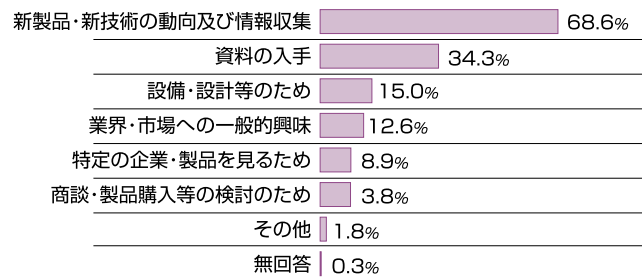
Q1 HVAC&R JAPAN 2008 を何でお知りになりましたか? (複数回答)



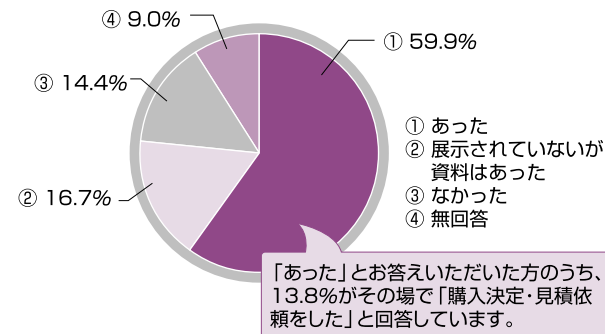
Q2 本展へのご来場は何回目ですか?



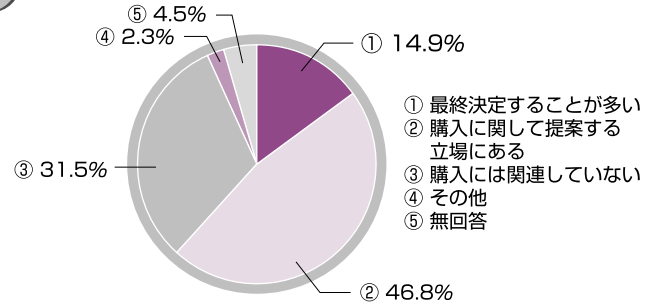
Q3 ご来場の目的は何ですか? (複数回答)



Q4 お目当ての出展物・情報はございましたか?

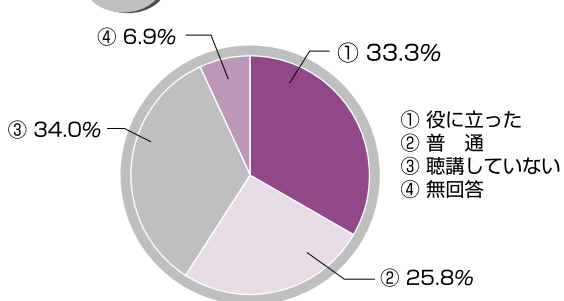


Q5 冷凍空調機器・製品の購入に関して

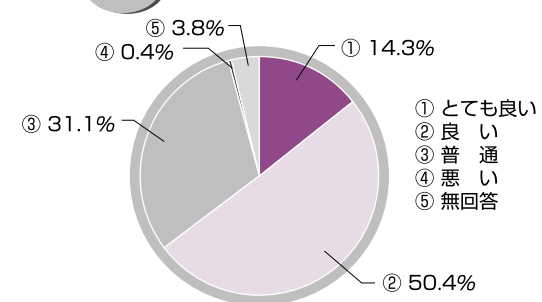


Q6 併催行事について

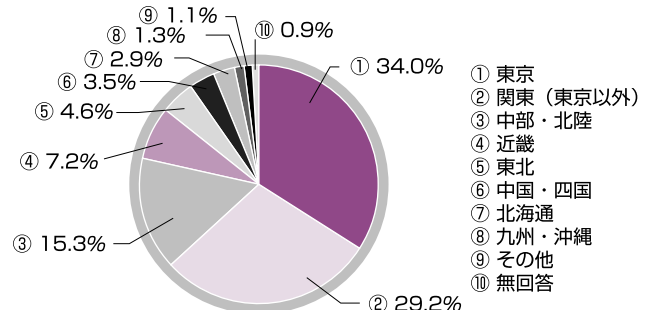
Q6-1 講演会及び出展者プレゼンテーション



Q6-2 情報発信コーナー等の主催者企画



Q7 本日はどちらからいらっしゃいましたか? (現在の勤務先所在地)



来場者の声

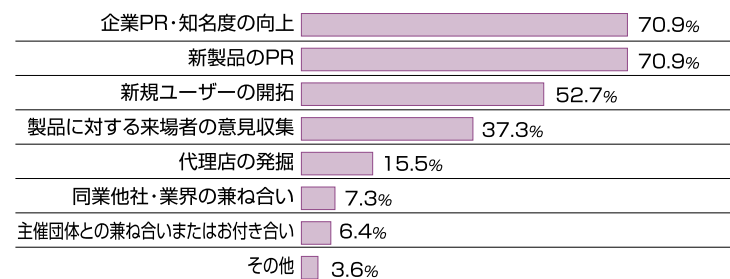
- 各社とも力の籠った出展をしており、今後、益々の展示規模拡大が期待できる。隔年ではなく、毎年の開催を強く希望する。
- 展示会に様々な企画が盛り込まれており、存分に楽しめた。省エネ関連の情報を更に充実し、発信してほしい。
- 新製品・技術の動向が一堂に会しており、大変勉強になった。国内のみならず海外出展者からの情報も貴重な体験だった。更なるグローバル化を!

出展者の声

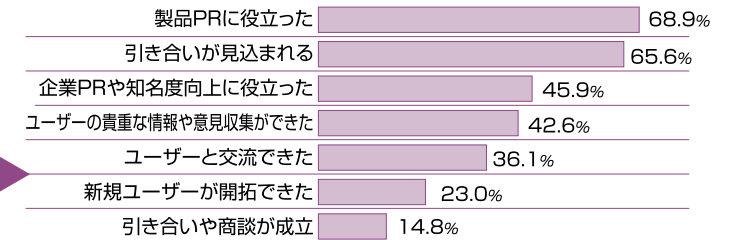
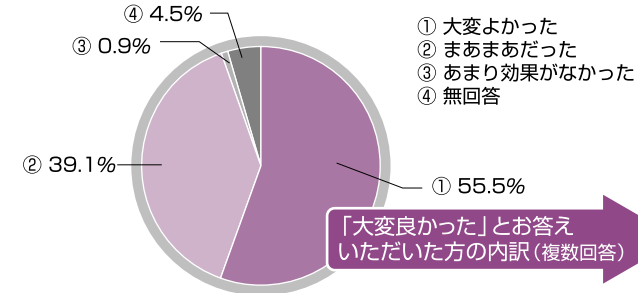
- 事業PRの場として大変有効であった。今後、商品だけでなく社の保有技術を多面的に出展していきたい。
- 非常に多くの来場者を迎えることができた。商談スペースの幅を広くしてほしい。
- 来場者の関心が高く、商談目的意識を持ったユーザーが多いため、意義のある展成成果が得られた。

出展者アンケート (有効回答社数:110)

Q1 今回出展された目的について (複数回答)

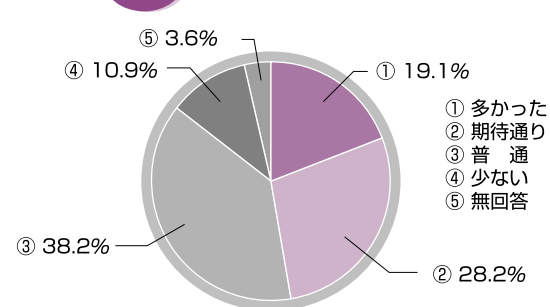


Q2 今回出展された感想について

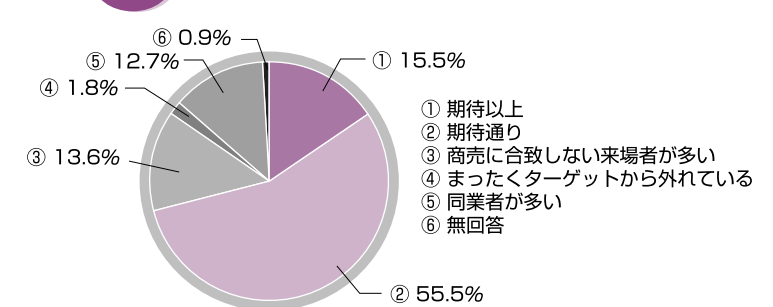


Q3 小間を訪れた来場者について

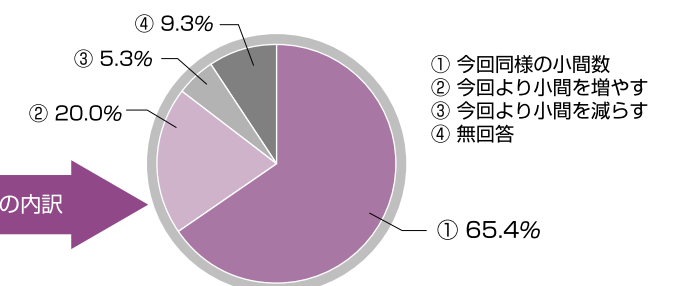
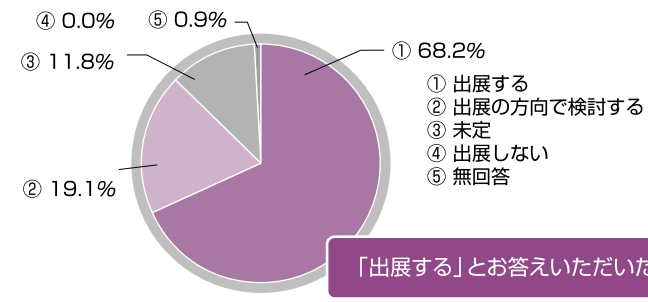
Q3-1 数について



Q3-2 満足度



Q4 次回「HVAC&R JAPAN 2010」への出展について



■ 広報・宣伝活動

当工業会によるプロモーション活動の他、各メディアをはじめ、関係各社・団体のご協力を得て、来場者は過去最大の33,277人を数えました。

各種広報ツール

来場案内

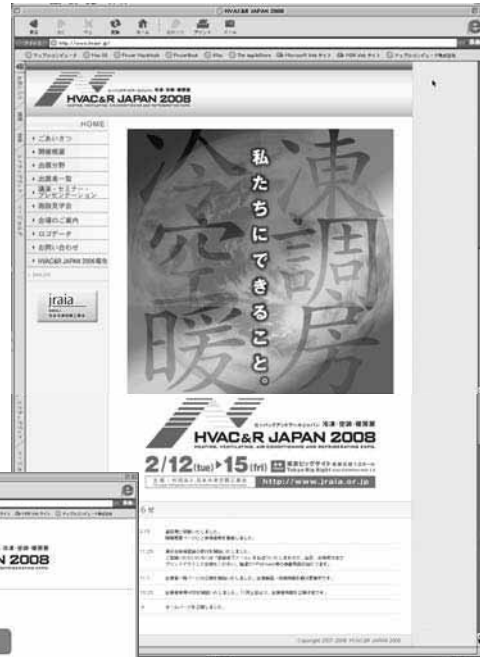


●和文来場案内

●英文来場案内

ホームページ <http://www.jraia.or.jp>

出展者による入稿システム「出展者専用WEB」を導入し、企業情報だけでなく、展示予定製品やその見どころをウェブ掲載しました。これにより来場者は、開催前から「社名や関連キーワード」による検索で各社のPR情報を得ることが可能となりました。



●ホームページTOP

告知ポスター



●出展者検索ページ

海外プロモーション

中国主催者との提携で「中国制冷展2007」に出展。的確な多方面への出展・来場プロモーションにより、アジアをはじめ、欧州からも出展者が集いました。



新聞・雑誌への広告・特集記事掲載

媒体名一覧

- 週刊エアコン流通人
- 管材新聞
- 空調タイムス
- 経済産業公報
- 経済産業新報
- 建設通信新聞
- JARN
- Style Club マガジン
- 電波新聞
- 日刊工業新聞
- 日経産業新聞
- 熱産業経済新聞
- 博展要覧
- フジサンケイビジネスアイ
- 見本市展示会通信
- 日本冷凍空調学会誌「冷凍」
- 冷凍空調設備
- 冷熱ジャーナル
- その他多数媒体

●経済産業新報



●日本冷凍空調学会誌「冷凍」



●経済産業公報



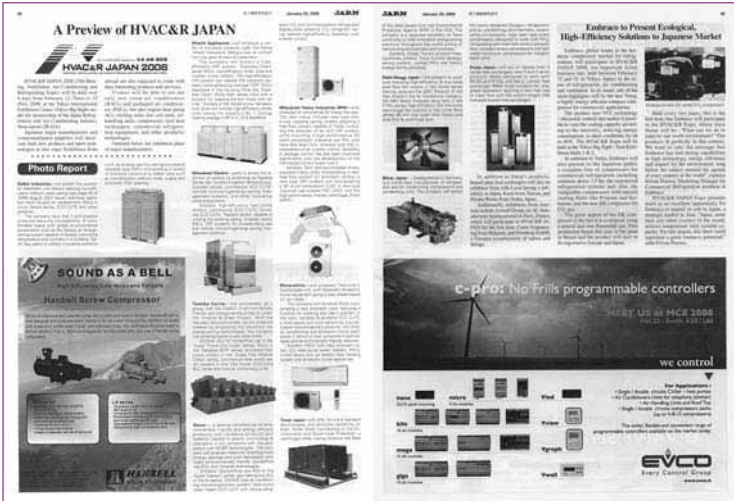
●日経産業新聞



●フジサンケイビジネスアイ



●JARN



●冷熱ジャーナル



●空調タイムス



●建設通信新聞



●管材新聞



●日経産業新聞



●熱産業経済新聞



●週刊エアコン流通人



●冷凍空調設備



TV放映—Closing Bell (2008年2月12日(火) テレビ東京)



次回HVAC&R JAPANのご案内



2010年2月開催予定
東京ビッグサイト



社団法人 **日本冷凍空調工業会**

JRAIA

The Japan Refrigeration and Air Conditioning Industry Association

〒105-0011 東京都港区芝公園3丁目5番8号（機械振興会館内）

TEL: 03-3432-1671 FAX: 03-3438-0308

<http://www.jraia.or.jp>

——— 展示会についてのお問い合わせ ———

HVAC&R JAPAN 事務局

〒101-8449 東京都千代田区神田錦町3-24 住友商事神保町ビル5F

Tel : 03-3219-3562 Fax : 03-3292-1813

E-mail : hvac@ics-inc.co.jp